

「おうちパンを作ろう！～おうちに焼きたてのパンの香りを～」

1 講座の内容

家庭でパン作りをしたい受講者のために、オーブンやホームベーカリーを使用せず、フライパンや、トースターで手軽に焼ける「おうちパン」作りを学ぶ。「おうちパン」の魅力は、その工程がとてもシンプルであること。生地づくりから、焼き方までの基礎知識とコツを学び忙しい人でも、初心者でも家庭で気軽にパンを焼くという楽しみを見つけてもらう。2時間で全行程を完了するのは難しいため、パン生地の生成までを実践し、講師が事前に準備した生地で焼いたパンを試食しながら、ポイントを学ぶ。作った生地は持ち帰り、各家庭で焼く。

2 講座の概要

- (1) 講師 おうちパンマスター 天川泰子 氏
- (2) 日時 令和元年12月14日（土）10:00～12:00
- (3) 学習時間 2時間
- (4) 受講者数 16人
- (5) 場所 名護市中央公民館
- (6) プログラム ・開講の挨拶・県民カレッジの説明・講師紹介等
 ・パン生地の作成・パン生地を焼く・試食等
 ・ふり返り・アンケート記入・片付け



3 成果

講師と念入りに打ち合わせをし、下準備も講師が前日に行っていたので、当日の流れがスムーズで時間内に終わることができ、片付けもサッと終わることが出来た。当日に作成した生地は自宅に持ち帰り、当日は、講師が試食用で準備していたパンや事前に準備していた生地を焼いて試食した。限られた時間の中で全行程を分かりやすく学ぶことが出来た。

4 課題

講座申込み受付が7月で、講座自体が12月実施だったので、事情によりキャンセルが2件出てしまった。

令和ではじめよう 学びの輪『初めての手話』

1 講座の内容

コミュニケーションツールの一つとして手話を取り入れていくことで聴覚障害をもった方との関係性を築けるようになる。また、障害者の取り巻く環境を知ることの大切さを気づかされる。

2 講座の概要

- (1) 講師 比嘉 正枝 氏（読谷村身体障害者団体副会長）
- (2) 日時 令和元年11月10日（日）10:00～12:00
- (3) 学習時間 2時間
- (4) 受講者数 9人
- (5) 場所 中頭教育事務所会議室（中部合同庁舎）
- (6) プログラム 開講式
講義『初めての手話』
・ 障害とは
・ 手話の表現について
閉講式



3 成果

- ・ 手話だけを学ぶのではなく、健常者から障害者になった経緯と社会との関わり方の実体験を交えた話しを聞いた事が良かった
- ・ 親子連れでも参加出来るようにワークショップブースを設けたことがよかった

4 課題

- ・ 難聴者が参加希望した場合の手話通訳士などの配慮。
- ・ 定期的を開催するための工夫を行う。
- ・ 開催場所・時間の検討が必要である。

令和ではじめよう 学びの輪『海の生き物を知る』

1 講座の内容

人間は共存する上で様々な生き物との関わり方がある。そういった生き物の環境を知ることによって普段の生活に対する考え方や行動を学ぶ。そして関わり合う事の重要性を改めて認識してもらう。

2 講座の概要

- (1) 講師 比嘉 康裕 氏 (Education management)
- (2) 日時 令和元年11月24日 (日) 10:00~12:00
- (3) 学習時間 2時間
- (4) 受講者数 9人
- (5) 場所 中頭教育事務所会議室 (中部合同庁舎)
- (6) プログラム 講義『海の生き物を知る』
 - ・環境と共存について
 - ・触れる事で分かること
 - ・ビーチストラップのワークショップ



3 成果

- ・環境の考え方を色んな方向から学ぶことができた。
- ・海の危険生物を含め、生き物を手で触ることによって何が危ないのかなど知り得た。
- ・貝殻をつかったストラップ作りは参加者全員で盛り上がり一体感が生まれた。

4 課題

- ・効率的かつ効果的なプロモーションの仕方について、工夫が必要である。
- ・イベントサイトゴーヤドットネットのサイトにも投稿し、アクセスランキング1位になるように対策したが、思う程集客には繋がらなかった。次回に向けて対策を考案中。

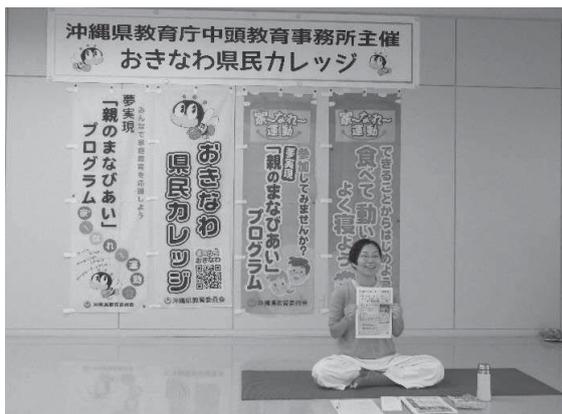
令和ではじめよう 学びの輪『気づきyoga中学生以上』

1 講座の内容

yogaの体験を通し自分の心と体のバランスを感じることで、自分らしく生きることのよさや生活の中のストレスのコントロールの仕方を学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 タユフェール美弥 氏 (yoga療法士)
- (2) 日時 令和元年12月7日 (土) 10:00~12:00
- (3) 学習時間 2時間
- (4) 受講者数 7人
- (5) 場所 中頭教育事務所会議室 (中部合同庁舎)
- (6) プログラム 講義『気づきyoga』
 - ・心と体の声を聞く
 - ・呼吸法の考え方
 - ・生活習慣の見直し



3 成果

形や動作に焦点をおくようなyogaではなく、セルフケアの観点からみるyoga講座なので年配の方からも好評だった。また各年代にあったyogaから学ぶ取り組み方の理解ができ参加者から継続の要望があった。

4 課題

- ・yogaマットなどの貸し出しの工夫が必要と感じた
- ・年齢枠のメリットをうまく使い切れなかった
- ・タイトルネームにも少し工夫が必要と感じた

令和ではじめよう 学びの輪『楽しくyoga親子対象』

1 講座の内容

yogaの体験を通し自分の心と体のバランスを感じることで、自分らしく生きることのよさや生活の中のストレスのコントロールの仕方を学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 タユフェール美弥 氏 (yoga療法士)
- (2) 日時 令和元年12月8日 (日) 10:00~12:00
- (3) 学習時間 2時間
- (4) 受講者数 8人
- (5) 場所 中頭教育事務所会議室 (中部合同庁舎)
- (6) プログラム 講義『楽しくyoga親子対象』
 - ・親子で気づきあう身体の声
 - ・身体の軸を知る
 - ・自然と身体の調和



3 成果

親子対象向けのyoga講座で子どもを引きつける為の工夫があり良かった。

呼吸に対する意識や集中する為意識をうまく取り入れていたので、今後は特に現代社会におけるストレスを抱えている人に対して提案が出来ると思えた。

4 課題

- ・yogaマットの貸し出しについて事前に調整が必要である。
- ・暖かい時期での開催、屋外での開催の要望があったため時期や場所を検討したい。
- ・継続してyogaをやって行きたいとの声があったので次年度も検討したい。

沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう！

1 講座の内容

裂き織コースター

家庭で不要になった衣類や布を利用し、裂き織の手法でコースター作りを楽しむ。
不要な物が新しく生まれ変わる楽しさを知る。

2 講座の概要

- (1) 講師 仲地 輝美 氏 (ガールスカウト連盟長)
- (2) 日時 令和元年8月9日 (金) 14:00～16:00
- (3) 学習時間 2時間
- (4) 受講者数 20人
- (5) 場所 うらそえぐすく児童センター
- (6) プログラム ① 受付
② 説明 布の裂き方、コースターの編み方など
③ 縦糸がセットされてる段ボール編み機を使ってコースターを制作



3 成果

夏休みに、親子、孫たちと楽しい、有意義な時間でした。
家でもまた色々な布を使って、大きなものにチャレンジしたい。
古着のリメイクにととても良い。身近な材料で作ることが出来ることに感激です。
などの感想が寄せられました。

4 課題

特になし。

沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう！

1 講座の内容

沢登り（国頭村楚洲伊江川）

野外で安全に過ごすために覚えておきたい知識と技術を学ぶ講座。
沖縄の大自然を知ってもらう。

2 講座の概要

- (1) 講師 福島 誠司 氏 （沖縄県総合運動公園 所長）
- (2) 日時 令和元年9月14日（土）8:00～16:00
- (3) 学習時間 8時間
- (4) 受講者数 35人
- (5) 場所 国頭村楚洲伊江川
- (6) プログラム
 - ①集合 8時 沖縄県総合運動公園 10時 現地（国頭村楚洲伊江川）
 - ②説明 ライフジャケットの着け方、川の歩き方、流れの読み方、泳ぎ方など
 - ③食事 （福島先生のお手製スープ&持参おにぎり等）
 - ④解散 14時 現地解散 16時 沖縄県総合運動公園



3 成果

度胸がついた。子供達とのキズナが深められた。川の水の流れが分かって歩けたり、水の深い所の渡りも安心して進めました。

子供達が自然に興味を持つきっかけになった。自分達だけでは出来ない事に挑戦できたなど感想が寄せられました。

4 課題

年齢制限のため、参加申し込みを断念した子供がいましたが、参加者をみたら、年下の子もいたので、そのあたりの線引きは、しっかりしてほしい。

着替えの場所の確保が必要。

沖縄の歴史・文化・自然を楽しもう！

1 講座の内容

デイキャンプ

テント設営から魚料理全般の調理法を学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 福島 誠司 氏 (沖縄県総合運動公園 所長)
- (2) 日時 令和元年10月19日 (土) 9:30~13:00
- (3) 学習時間 3時間半
- (4) 受講者数 19人
- (5) 場所 沖縄県総合運動公園
- (6) プログラム
 - ①受付
 - ②説明 刺身 塩釜 うしお汁 煮物 たたき 笹の葉寿司 漬け寿司
作り方
 - ③ハンモック テント設営
 - ④解散



3 成果

色々な料理の作り方を、目の前で、手際よく、段取りを知ることが出来て良かった。

魚嫌いが好きになった。初めてのアウトドアクッキング楽しめました。

参加者が少なく、みんなと仲良くなれて良かった。ハンモックやテント設置実践してみて組み立て方が分かった。

などの感想が寄せられました。

4 課題

他の行事等（運動会や地域のまつりなど）重ならないよう実施期間を検討する。

沖縄の歴史・文化・自然に楽しもう！

1 講座の内容

昔（いにしえ）のロマン 浦添グスク散策
浦添グスクから歴史、沖縄戦について学びます。

2 講座の概要

- (1) 講師 うらおそい歴史ガイド友の会
- (2) 日時 令和2年1月21日（火）14:00～16:00
- (3) 学習時間 2時間
- (4) 受講者数 34人
- (5) 場所 浦添ようどれ
- (6) プログラム ①受付
②内容 ようどれ館～浦添ようどれ～展望台～
伊波普猷の墓～前田高地の碑の散策
③アンケート記入後 解散



3 成果

より興味が深まった。とても勉強になりました。史跡にまつわる裏話が良かった。沖縄の大切な城跡が、軍備に使われ、攻撃を受けたことはとても残念に思いました。感動した。多くの戦死者が出てる前田高地、浦添城跡を、若者にも多く知ってほしいなどの感想が寄せられました。

4 課題

見学範囲が広がったので、休憩（トイレ）があれば良かった。

島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』

1 講座の内容

花のある生活を楽しむことや食品づくり等を通して、受講者が主体的にまちづくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 神村 進 氏 (米須自治会長)
- (2) 日時 令和元年10月16日 (水) 9:15～ 12:00
- (3) 学習時間 3時間
- (4) 受講者数 28人
- (5) 場所 糸満市立中央図書館(開講式)
米須公民館(講義)
- (6) 共催 糸満市教育委員会
- (7) プログラム
 - ・ 開講式(糸満市立中央図書館)
 - ・ 米須公民館へ移動
 - ・ 講義「米須活性化への挑戦」
 - ・ 米須のまちを視察(マイクロバスで移動)
 - ・ 「糸満市立中央図書館」へ移動
 - ・ (マイクロバス) 糸満市立中央図書館着後 解散



3 成果

- ・ 開講式で行政説明や主催者・共催地のあいさつを通して、おきなわ県民カレッジの意義について理解を深め、受講者の意欲を高めることが出来た。
- ・ 地域の自治会長から地域づくりについて講話を拝聴し、受講者が自身の地域づくりへ意識を持つことが出来た。

4 課題

- ・ 昨年度より受講者募集時期が早くなったことから、周知方法を複数用意したい。

島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』

1 講座の内容

沖縄の作物をいかした植えつけなどの実習等を通して、受講者が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 屋宜 宣行 氏 (じんぐらファーム代表)
- (2) 日時 令和元年10月25日 (金) 9:00~12:00
- (3) 学習時間 3時間
- (4) 受講者数 24人
- (5) 場所 八重瀬町種苗センターじんぐらファーム
- (6) 共催 糸満市教育委員会
- (7) プログラム
 - ・ 講話「培養土づくりと野菜づくり」
 - ・ 実習①野菜づくりを楽しもう
 - 「培養土づくり」「ミニトマトの植えつけ」



3 成果

- ・ 「培養土づくりについて専門的内容であったが、受講者にわかりやすく講話していただき、講座後も自身でもっと研究したい。」と意欲を高めることが出来た。
- ・ 昨年度より大きい鉢を準備したので、培養土の作り方の実践をしていただき、受講者も培養土の配分・作り方を体験することが出来た。

4 課題

- ・ 初めて受講する方は、場所が分かりづらく、前半の講義に間に合わない方もいた。第1回講座で地図を準備したが、当日案内板や「カレッジのぼり旗」を準備する。

島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』

1 講座の内容

沖縄の食材をいかした食品づくりの実習等を通して、受講者が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 和泉 好彦 氏 (沖縄県立水産高等学校教諭)
- (2) 日時 令和元年10月30日 (水) 12:00~16:00
- (3) 学習時間 3時間
- (4) 受講者数 21人
- (5) 場所 沖縄県立沖縄水産高等学校
- (6) 共催 糸満市教育委員会
- (7) プログラム
 - ・ 集合：糸満市立中央図書館 沖縄県立沖縄水産高等学校へ移動
 - ・ 講話「実習②について内容紹介」
 - ・ 実習②揚げかまぼこ製造体験
 - ・ 沖縄県立沖縄水産高等学校～糸満市立中央図書館へ移動（マイクロバス）
 - ・ 糸満市立中央図書館着後解散



3 成果

- ・ かまぼこづくりの「実験」「歴史」「かまぼこの日」などについて学んだり、糸満の特産品を使って実習したりしたことで「沖縄の食について他にも学びたい。」と意欲を高めることが出来た。
- ・ 欠席した受講生の分をグループや沖縄水産高等学校の生徒に作って頂き、時間内に製造体験を終えることが出来た。
- ・ 受講生代表の挨拶を事前にお願ひしていたので、講座開催のお礼だけでなく、「食品づくりを通して地域づくりへの意欲が高まった。」という内容の挨拶であった。

4 課題

- ・ 欠席する方の材料費等の事前に徴収方法を工夫する。

島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』

1 講座の内容

沖縄の食材をいかした食品づくりの実習等を通して、受講者が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。

2 講座の概要

- (1) 講師 高江洲 聖 氏 (沖縄県立南部農林高等学校教諭)
- (2) 日時 令和元年11月7日(木) 9:00~12:00
- (3) 学習時間 3時間
- (4) 受講者数 27人
- (5) 場所 沖縄県立南部農林高等学校
- (6) 共催 糸満市教育委員会
- (7) プログラム
 - ・講話「お菓子づくりについて」
 - ・実習③「ガトーショコラづくり」実習助手 玉城 綾子



3 成果

- ・講師の専門的な講話や丁寧に手順を説明してくださり、また、昨年度と同じ生徒が担当ということもあり手際もよく時間内に実習できた。
- ・予定にはなかったラッピングについても、生徒の考案でいろいろな手法を紹介して頂き、ケーキが焼き上がるまでの時間も有効活用ができた。

4 課題

- ・駐車場で受講者と保護者を混同しないように「駐車場許可書」を作成し、安全面についても考慮したい。

島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』

1 講座の内容

- ・沖縄の食材をいかした食品づくりの実習等を通して、受講者が主体的に地域づくりに参画できる資質を育てる。
- ・おきなわ県民カレッジ広域学習サービス講座受講生へ修了証を授与するとともに、全受講生の各地域での今後の活躍を激励する機会とする。

2 講座の概要

- (1) 講師 又吉 さきえ 氏 (沖縄県立南部農林高等学校教諭)
- (2) 日時 令和元年11月13日 (水) 9:00～12:30
- (3) 学習時間 3時間半
- (4) 受講者数 25人
- (5) 場所 沖縄県立南部農林高等学校
- (6) 共催 糸満市教育委員会
- (7) プログラム
- ・講話「ハンギングバスケットづくりについて」
 - ・実習④「ハンギングバスケットづくり」
 - ・閉講式、修了証授与・受講生代表あいさつ



3 成果

- ・花だけでなく野菜を取り入れた新しい試みのハンギングバスケットに、「家庭や地域でも作りたい。」と受講者の意欲的を高めることが出来た。
- ・事前準備 (鉢・苗) をしていただいたので、基本的な植えつけだけでなく、生徒が考案した装飾作成も時間内に出来た。
- ・閉講式において、主催者、会場校長からの激励のあいさつをいただき、受講者の皆さんの地域づくりへ意識の高揚につながった。

4 課題

- ・作品を仕上げ、各自車に搬入する際、個別の対応が必要。(足の不自由な方への配慮)
- ・地域づくりに向けた具体的な取組について、受講者一人一人の参画意識を高めるための取組の充実。

宮古に倭寇はいたか？

1 講座の内容

宮古には、倭寇の根拠地であったとの説がある中国の陶磁器等が出土する遺跡が何か所かありその代表的なものが上比屋山遺跡である。宮古と倭寇の係わりについて講座を受講、その後遺跡を視察し、宮古における古代の海外交流の歴史を学習する。

2 講座の概要

- (1) 講師 下地 和宏氏 (宮古郷土史研究会 会長)
- (2) 日時 令和元年7月13日 (土) 13:30~16:30
- (3) 学習時間 3時間
- (4) 受講者数 27人
- (5) 場所 上比屋山遺跡
- (6) プログラム
 - ・ 開講式
 - ・ 講義「宮古に倭寇はいたか？」
 - ・ 現場 (上比屋山遺跡) 視察



3 成果

- ・ 定員を上回る多くの県民が参加していただき、「倭寇」をキーワードに古代の宮古島と中国、本土との交流について詳しく学習することができた。下記の感想等からも充実した講座を行うことができた。
- ・ 難しい語句ばかりであったが、パワーポイントを使って分かりやすく説明されていて良かった。こんな小さい宮古にも陶磁器や双紙があってすごいなと思った。(10代)
- ・ 内容とても面白かったです。特にフィールドワークは実際に目で遺跡を見て、先生の講話を聴けたのですごく勉強になりました。(40代)
- ・ 歴史について知ることができとても良かった。現地を見ることで色々想像できた(60代)
- ・ 14~15世紀の様子(日本・中国・沖縄など)が繋がった。(60代)

4 課題

・ 7月に実施したので、開設時期をもっと涼しい時期に、或いは時間帯を午前中にしたほうが良いとの意見が複数あった。1年中夏のような宮古島では難しいが今後検討することとした。

ナマリ節を作ろう！

1 講座の内容

宮古におけるカツオ漁は、かつて伊良部島や池間島で隆盛を極め、宮古の漁師が海外まで出かけて南太平洋諸国の漁師に漁法を教えていた。

これら宮古におけるカツオ漁の南方展開の歴史を学習し、その後工場でナマリ節を実際に製作する。

2 講座の概要

- (1) 講師 ①普天間 一子氏 (伊良部漁協会計主任及び佐良浜地区漁業集落活性化協議会)
 ②仲間 明典氏 (宮古島市地域起こし研究所 所長)
 ③久高 明人氏 (隆一カツオ節工場 代表者)
- (2) 日時 令和元年10月5日 (土) 13:30~17:00
- (3) 学習時間 3時間半
- (4) 受講者数 40人
- (5) 場所 隆一カツオ節工場
- (6) 共催 佐良浜地区漁業集落活性化協議会
- (7) プログラム
- ・開講式
 - ・講義①普天間 一子氏：佐良浜のお話し、カツオの捌き方
 - ②仲間 明典氏：佐良浜漁師たちの南方展開の軌跡
 - ③久高 明人氏：ナマリ節の製作方法の説明と指導
 - ・アンケート記入



3 成果

1) 総評

当初9月21日に62人の参加者で実施予定であったが、台風接近により10月5日に変更となり、参加者数が減少した。しかしながら、これまでで最大の40人が参加した。

調理室の収容能力もあり、全体講義の後は小学生グループと中学生以上グループの二班に分かれて実習を行った。今回は参加者が直接体験する方法を初めて取り入れたので、評価が非常に高かった。今後、可能な限りこの方策を取り入れて行きたい。

2) アンケート抜粋

・仲間明典さんのお話し、普天間一子さんのお話し、指導とも楽しかったです。カツオ捌き実習の際、漁師の方の指導は説得力があり、またナマリ節工場でも現役漁師に込み入った質問ができるなど、何でも尋ねやすい場でした。佐良浜の漁に関心を持ち、伊良部島をより身近に感じるようになりました。仲間明典さんのお話をもっと聞きたいです。

4 課題

・今回の講師は3人とも配布資料がなく、パワーポイントも使わずに講義・悦明を行った。内容的には素晴らしいものであったので、海、地図、専門用語の解説の資料がないのが残念であるとの意見が何人かあった。今後講師による資料配布がない場合、講師ともども検討したい。

泡盛をもっと知ろう！

1 講座の内容

沖縄の銘酒・泡盛は、琉球王朝が東南アジアと交易を通じ交流していた14～15世紀頃にシャム国（現在のタイ国）から製法が導入された歴史があり、タイやラオスには泡盛と製法や味がほぼ同じである「ラオロン酒」の地酒がある。

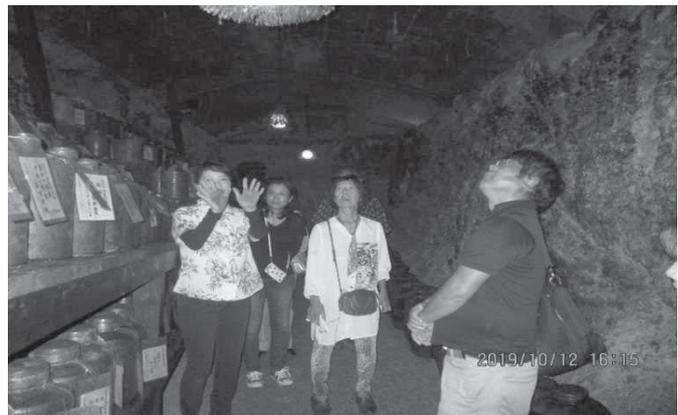
宮古にも古代の交易の跡があるので、泡盛の歴史の講義を受講し、製法を実際に工場で見学することにより、宮古と諸外国とのこれまでの、そしてこれからの係わりについて考える。

2 講座の概要

- (1) 講師 下地 恵子氏（泡盛ライター）
- (2) 日時 令和元年10月12日（土）13:30～17:00
- (3) 学習時間 3時間半
- (4) 受講者数 20人
- (5) 場所 多良川酒造所
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・講義：泡盛の歴史について
 - ・見学：多良川酒造所



下地恵子講師による講義「泡盛の歴史」



洞窟貯蔵庫見学

3 成果

1) 総評

泡盛ライターである下地氏の講義は、泡盛に関する種々の情報が詰まっていて、参加者には大変勉強になったとの声が多い。泡盛の消費量が毎年減少する中、回復方法を探し実行することが求められるとの結論である。

2) アンケート抜粋

- ・楽しく泡盛のことを知ることができ、大変勉強になりました。
- ・泡盛の歴史や先人たちの想いなど、とても勉強になりました。
- ・なかなか知らない細かいお話と、明るい元気な恵子節、とても良かったです。
- ・講師の下地恵子氏はJTA（日本トランスオーシャン航空）に寄稿しているとのことですので、何とか入手しそれも読ませていただきます。
- ・もっといろいろ聞きたいと思いました。下地さんの泡盛への想いに感動しました。

4 課題

- ・今回は特になし

世界の料理を体験しよう！

1 講座の内容

現在宮古島にも多くの国の人が住んでいて、国際化が進んでいる。

宮古に在住する外国人と宮古島市民が直接交流し、触れ合う機会を設けることにより、相互理解を促進し、また、各国の料理を共に調理し、食することによる食の文化交流を通じ、国際理解を養う一助とする。

2 講座の概要

- (1) 講師 ①Ms. Houg(ベトナム)、②Mr. Gulam/Mr. Hanif(インドネシア)
③Mr. Joe(フィジー)、④与那覇 史香氏(博物館学芸員)
- (2) 日時 令和元年11月30日(土) 13:30~17:00
- (3) 学習時間 3時間半
- (4) 受講者数 40人
- (5) 場所 宮古青少年の家
- (6) プログラム 1. 講義
2. 調理実習 各国の紹介 調理実習、試食
- (7) 取材 宮古TV及び宮古新報社



3 成果

宮古島市民は、外国人と触れ合う機会が少ないと思われ、参加者の多くが外国人との交流、異文化の食を調理し、試食することを楽しみ、喜んでいました。参加型で、かつ親子歓迎としたことで親子の参加が多く、次回も参加したいとのアンケート結果が多い。

4 課題

- ・グループによって参加の度合いが異なり、講師と一緒に調理するグループもあれば、講師が事前に殆ど準備していたグループもあった。今後実施する場合は、可能な限り協働とするように講師に依頼する必要がある。
- ・親子参加としたことにより、未就学児のざわつきがあり、講義が聞き取りにくかったとの感想があった。講義をするかどうかも含め、今後検討する必要がある。
- ・各国事情の紹介は、内容を統一したいこともあり、こちらで準備したが、本人の話したい内容にしたほうが良いとの意見もあるので、次回は検討したい。

やいま 再発見！！ カジノキで紙漉をしよう 修了証用紙製作、アダン筆づくり

1 講座の内容

紙について、身近な島の材料（カジノキ）を用いた紙漉き等について学び、紙漉の工程を体験し修了証用紙を製作する。また、アダン筆づくりを行う。

2 講座の概要

- (1) 講師 寄川 和彦 氏（石垣市立八重山博物館 学芸員）
- (2) 日時 令和元年7月14日（日） 8:30～17:00
- (3) 学習時間 8時間
- (4) 場所 沖縄県立石垣青少年の家
- (5) 受講者数 22人
- (6) プログラム
 - ・ 開講式
 - ・ 和紙の歴史、八重山の紙漉について、カジノキ紙の作り方
 - ・ アダン筆づくり



3 成果

- ・ 和紙ができるまでの工程を体験する事ができた。
- ・ 紙漉は手間のかかる作業だが、一人一人個性のある和紙ができた。
- ・ 身近な素材を活用して紙や筆を作ることができた。

4 課題

- ・ 更に紙漉き前後の時間の有効活用を図る。

やいま 再発見！！ 民謡のふる里めぐり

1 講座の内容

八重山各地に昔から伝わる、やいま謡の発祥地を訪ね、謡の生まれた時代背景、思いを検証しながら、学習を深め、後世に正しく継承していくことをねらいとする。

2 講座の概要

- (1) 講師 黒島 弘 氏（八重山古典民謡保存会 師範）
- (2) 日時 令和元年8月23日（日） 9:30～14:30
- (3) 学習時間 5時間
- (4) 場所 石垣島西回り
- (5) 受講者数 21人
- (6) プログラム
 - ・民謡発祥の地を訪ねる
 - ・民謡が作られた歴史や背景を知る
 - ・謡の意味を理解する



3 成果

- ・八重山の民謡の歴史を知る事ができ、意義深かった。各地に数多い民謡があることを知り、改めて民謡の宝庫を実感することができた。
- ・民謡の発祥地で三線、歌をきくことができ、今後は意味をかみしめながら聴こうと思った。
- ・講師の丁寧な説明と歌声で充実した民謡のふる里めぐりでした。

4 課題

- ・方言での説明等があり、聞き取れない受講生がいるので解説が必要であった。
- ・受講生も歌をうたっていたが、全員で合唱する機会を設定した方が良かった。

やいま 再発見！！ 安良村探訪

1 講座の内容

平久保半島に残る安良村（廃村）跡を探訪し、昔の生活様式や村の成り立ちを学習する。

2 講座の概要

- (1) 講師 下地 傑 氏（石垣市教育委員会 文化財課課長）
- (2) 日時 令和元年9月15日（日）10:00～13:00
- (3) 学習時間 3時間
- (4) 場所 安良村（平久保半島）
- (5) 受講者数 15人
- (6) プログラム
 - ・安良村の成り立ちを知る。
 - ・安良村の遺跡について
 - ・安良村跡の御嶽について



3 成果

- ・安良村の廃村について理解できた。
- ・初めて安良村を知ることができた。更に詳しく知りたいと思う。
- ・昔の生活様式や屋敷、家屋、井戸等について知る事ができた。

4 課題

- ・悪路のため、移動に時間がかかりすぎた。
- ・受講生の参加可否や連絡の方法

やいま 再発見！！ 島素材活用（薬膳料理） 秋・冬の薬膳料理づくり

1 講座の内容

薬膳料理作りをとおして、身近な島の野菜（素材）の豊かさ、また、秋・冬の薬膳料理を学び、地域食材を活用した食生活を見直し、健康の保持増進について認識を新たにする。

2 講座の概要

- (1) 講師 石井 早苗 氏（国際中医薬膳師）
- (2) 日時 令和元年10月12日（土）10:00～13:00
- (3) 学習時間 3時間
- (4) 場所 石垣市健康福祉センター
- (5) 受講者数 19人
- (6) プログラム
 - ・薬膳の基礎学習
 - ・秋・冬の薬膳料理（種類や効用を学ぶ）
 - ・閉講式



3 成果

- ・もっと手軽に入る島野菜、薬膳料理を知りたい。
- ・今回のような島素材の活用を参考に家庭でも挑戦したい。
- ・身体全体の機能に効く料理や別の材料等幅を広げて勉強したい。

4 課題

- ・他の行事と重なり、途中退席する受講生の対応について
- ・閉講式参加や修了証について